

講談社がキッズニア東京にパピリオンを出展 大人気シリーズ「講談社の動く図鑑 MOVE」、 さがしもの絵本「どこ？」をモチーフに、編集者の仕事を体験 オープン日:2020年12月17日(木)

株式会社講談社(東京都文京区、代表取締役社長:野間 省伸 以下、講談社)と KCJ GROUP 株式会社(本店:東京都千代田区、代表取締役社長:圓谷 道成 以下、KCJ GROUP)は、KCJ GROUP が運営することの職業・社会体験施設「キッズニア東京」(東京都江東区)に、講談社がオフィシャルスポンサーとなる『出版社』パピリオンを2020年12月17日(木)にオープンすることを決定しましたのでお知らせいたします。



パピリオン外観(イメージ)



パピリオン内観(イメージ)

本パピリオンで子ども達は、“出版社”の仕事内容や“編集者”の役割を理解したのち、「図鑑」または「絵本」の編集に挑戦します。子ども達は、編集者となり、大人気シリーズ「講談社の動く図鑑 MOVE」、さがしもの絵本「どこ？」をモチーフに、写真撮影や写真のセレクトをしながら、専用タブレットで編集作業をし、世界に1冊だけの自分の本をつくります。成果物として、スタッフクレジットに自分の名前が入った絵本や図鑑を持ち帰ることができます。

子ども達は、「出版社」パピリオンで、読者の心に残る本をつくるためには、好奇心をもっていろいろなことに向き合う姿勢が大切だということを知るとともに、企画を立て、1冊の本を生み出すまでの体験を通し、「本を編集するおもしろさ」「本をつくる喜び」「本を尊ぶ気持ち」を学びます。

キッズニア東京へのパピリオン出展について、株式会社講談社は次のように考えています。

「講談社は総合出版社として多様な出版物を展開し、たくさんの編集者が働いています。編集者の仕事は、世界中のおもしろいこと、ためになることを『編集』して読者に伝えること。それは、雑誌でも、書籍、漫画でも同じです。未来を担うたくさんの子ども達に、編集者の仕事を体験してほしいと思います」

■パピリオン概要

- パピリオン名 : 出版社
職業名 : 編集者
定員 : 各回4名 ※新型コロナウイルス感染予防や拡大防止の観点により、定員を制限しています
対象年齢 : 3~15歳
所要時間 : 決定次第お知らせいたします
給料 : 8キッヅ
成果物 : 制作した「図鑑」または「絵本」
体験内容 : 編集者として「図鑑」または「絵本」の編集を担当します。
企画を立て、新刊を生み出すまでの体験を通して、「本をつくる喜び」を学びます。
スポンサー : 株式会社 講談社

■「図鑑の編集」アクティビティのポイント

世界中から集めた驚きの「おもしろ生きもの」写真を編集して、自分だけの図鑑が作れる！



「講談社の動く図鑑 MOVE」をベースに、世界中から集めた驚きの「おもしろ生きもの」写真を編集して、自分だけの図鑑をつくります。編集部が事前にセレクトした写真の数々、見てただけでワクワクするこの写真たちをどう編集しよう？「恐竜みたいな鳥がいるの！？」「パンダの指は6本あるの！？」「水の上を走れる生きものがいるの！？」など、自分たちが得た驚きと感動をどうしたら読者に伝えられるだろうか、と考えながら一冊の図鑑を仕上げます。

■「絵本の編集」アクティビティのポイント

さがしもの絵本「どこ？」(作:山形明美)のジオラマ撮影に挑戦しよう！



さがしもの絵本「どこ？」(作:山形明美)のジオラマ撮影に挑戦します。木が茂り、動物たちが楽しそうに暮らす「本の森」のジオラマの中に、りんごやケーキなど、小物を配置していきます。テキストと照らし合わせながら、読者にすぐ見つけられないよう、上手にさがしものを隠していく工夫も必要です。ジオラマ撮影後は、専用のタブレットを使って、表紙のデザイン、キャプションの言葉や色などを考えながら編集作業を進め、世界でたった一冊のミニ絵本「どこ？」を完成させます。

山形明美(やまがた あけみ) プロフィール

静岡県生まれ。造形作家。おもに幼児雑誌や絵本などで、人形やぬいぐるみ、ジオラマ製作を手がけている。人気の「どこ？」シリーズは、『どこ？ つきよのぼんのさがしもの』『どこ？ もりのなかのさがしもの』『どこ？ とびらのむこうのさがしもの』『どこ？ ふしぎなまちのさがしもの』『どこ？ ながいたびのさがしもの』『どこ？ めいろでさがしもの』『どこ？ どうぶつたちとさがしもの』『どこ？ クリスマスのさがしもの』、最新作「どこ？ パーティーのさがしもの」も含めて全9作。姉妹編として「どこミニ」シリーズがある。